



# 防災教育



# 目次

---

## 1 自然災害の現状

---

## 2 命を守るための災害対策

---

- ①ハザードマップの活用
- ②気象情報・避難情報の活用
- ③避難行動
- ④家庭での備蓄
- ⑤家具の固定

## 3 まとめ

---

## 防災教育の背景と目的



あなたは、災害時にご自身とご家族の命を守ることができますか

### 背景

- 台風や大雨による浸水等の自然災害（風水害）は激甚・頻発化している。
- 地震や水害等の自然災害は、非常に大きなリスクになっている。

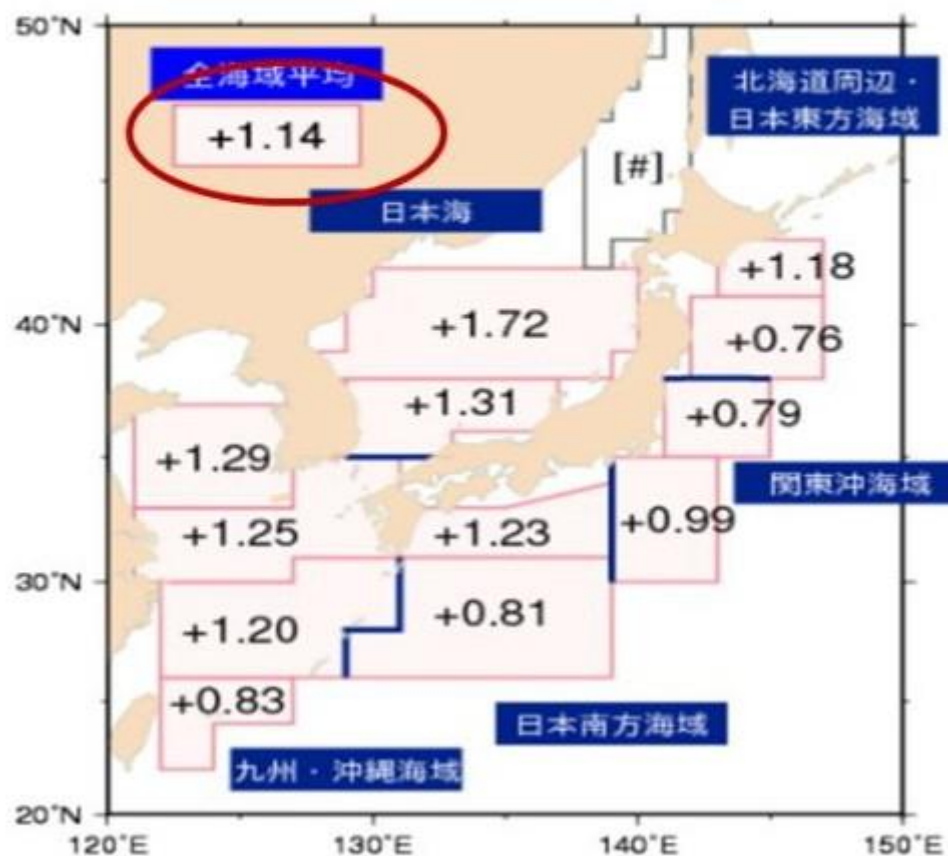
### 防災教育の目的

- 一人一人の防災意識を高め、災害へ備えていただくことにより、ご自身とご家族の生命と安全を守り、被害を最小化させる。

# 1. 自然災害の現状



日本近海の海水温は 最近100年間で「+1.14度」も上昇



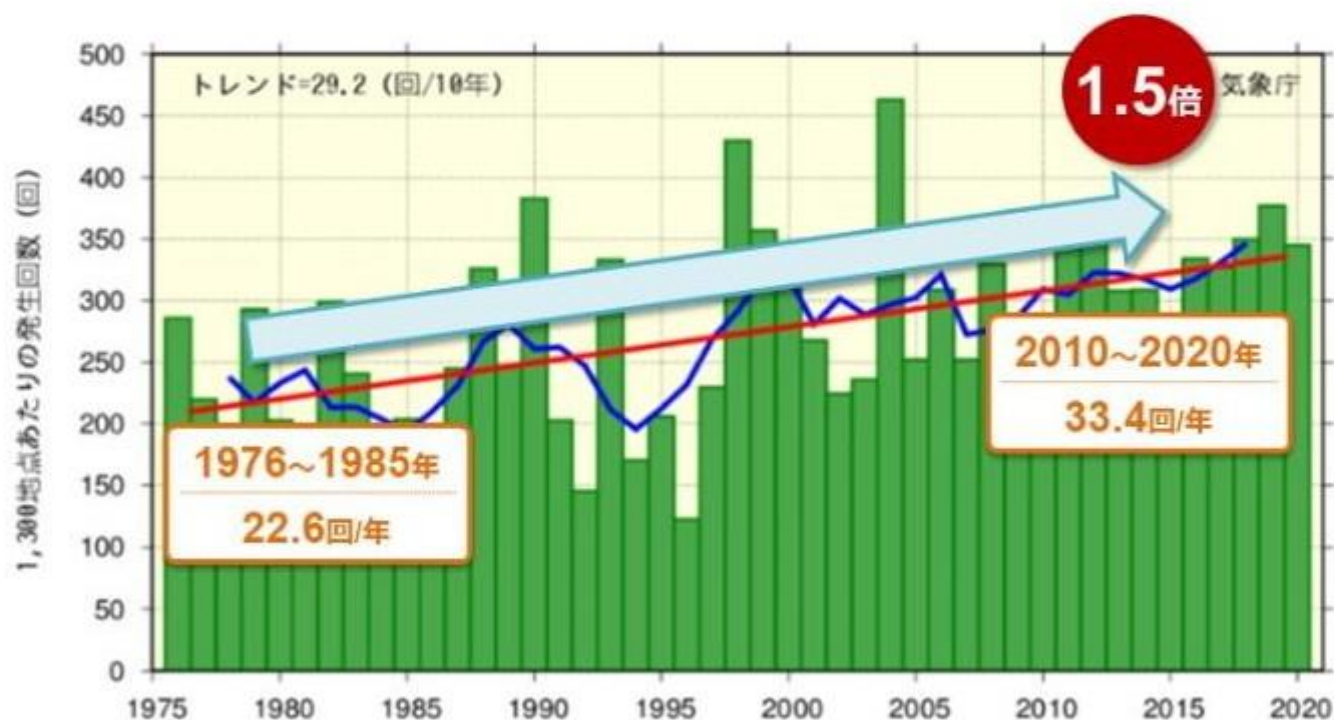
出典：気象庁HP

# 1. 自然災害の現状



## 1時間降水量50mm以上の年間発生回数は「1.5倍」に増加

※50mm/h以上の雨が降ると、マンホールから水が噴出したり、道路が冠水するようになります。



出典：気象庁HP

# 1. 自然災害の現状



## 最近発生した主な風水害

### 事例1 2019年台風15号

千葉県で鉄塔2基、電柱2,000本が倒壊し、大規模停電が発生。  
電力の完全復旧に約16日かかった。



### 事例2 2019年台風19号

関東甲信から東北地方にかけて記録的な大雨となり、全国17地点において総雨量が500mmを超えた。千曲川が決壊し、北陸新幹線の車庫が浸水した。



### 事例3 2020年7月豪雨（災害名称は「令和2年7月豪雨」）

熊本県に降った記録的大雨（総雨量約700mm）によって、球磨川やその支流12箇所で氾濫が発生し、19名の死亡が確認された。



## 2. 命を守るための災害対策

### 1 ハザードマップの活用

命を守るための基本



あなたの家の「災害リスク」を知ろう！



被災した住人へのインタビューでよく耳にすること

50年住んでいるが、  
こんな災害は初めてだ



まさか、自分が被災する  
とは思わなかった



## 2. 命を守るための災害対策

④ ハザードマップとは…

自然災害による被害を予測し、  
その被害範囲や被害程度を  
地図化したもの



**あなたの家の「水害リスク」は  
事前に把握することができます。**



## 2. 命を守るための災害対策

④ ハザードマップは、色により浸水の恐れがある場所と浸水の深さが分かります



出典：小田原市HP

## 2. 命を守るための災害対策

### ハザードマップの入手先



#### 国土交通省 ハザードマップポータルサイト



<https://disaportal.gsi.go.jp/>

- ▶ 「重ねるハザードマップ」
- ▶ 「わがまちハザードマップ」

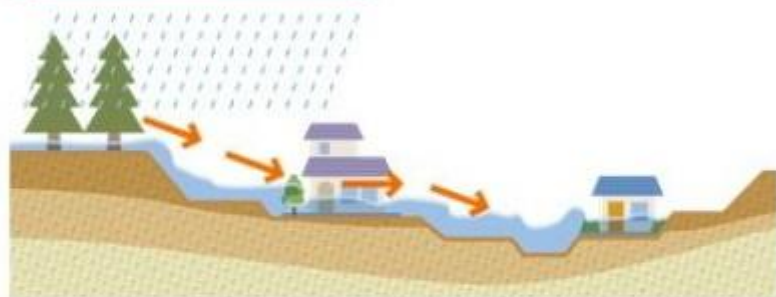
お住いの市町村のホームページでも入手できます

**お住いの地域に関するハザードマップを入手して、  
ご自宅の災害リスクを確認しましょう！**

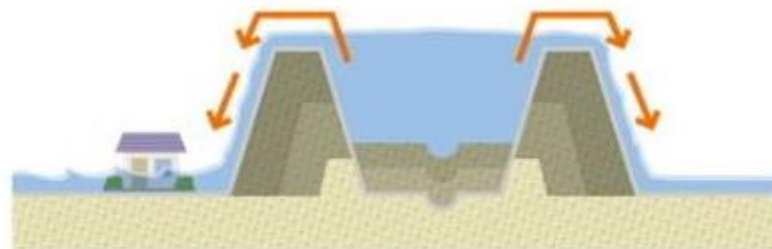
## 2. 命を守るための災害対策

 下記のような場所は、ハザードマップの色が塗られていなくても災害リスクがあり、注意が必要です。

周囲より低い場所



堤防よりも低い場所



川の近く



崖の近く



## 2. 命を守るための災害対策

### 2 気象情報・避難情報の活用

 避難のタイミングを考えよう！

災害発生時に気象庁や各自治体は、  
様々な情報を発信しています。  
それぞれの情報のもつ意味・取るべき行動を  
知ることが皆さんの身体の安全確保にも  
つながります。



## 2. 命を守るための災害対策

### 警戒レベルと避難行動



警戒レベル4の段階では、全員の避難完了が必要です。

## 2. 命を守るための災害対策

### 3 避難行動



適切な避難行動を理解しよう！

#### ① 立退き避難



安全な場所に  
住んでいる  
**親戚や知人宅**



市区町村が  
指定する  
**指定緊急避難場所**

#### ② 屋内安全確保



条件を満たせば  
自宅に留まり  
**安全確保**

## 2. 命を守るための災害対策

### 立ち退き避難する場合



自治体が発行する「避難場所MAP」で  
自宅付近の避難場所をあらかじめ確認しておこう！

出典：小田原市HP

## 2. 命を守るための災害対策

### 避難時の注意点

- ▶ 避難する際は、動きやすい格好で 2人以上で行動 すること。
- ▶ 側溝等への転落を防ぐため、避難中はできるだけ 浸水していない場所を歩く こと。
- ▶ 自動車は浸水すると動かなくなったり、水圧でドアが開かなくなったりして危険です。 自動車 での移動はなるべく避けること。





## 2. 命を守るための災害対策

### ① 屋内で安全確保する場合

下記の条件を満たせば、自宅での安全確保が可能

1 自宅は  
流出・倒壊しない



2 居室は浸水の深さ  
より高い



3 浸水が長引いても  
備えが十分ある



安全な場所にいる場合は避難する必要はありません

## 2. 命を守るための災害対策

### 避難ができない場合の対処方法

水害の危険がある場合




建物の上層階に避難

土砂災害の危険がある場合



崖の反対側へ移動

## 2. 命を守るための災害対策

 ローリングストック法を活用しよう！

### ローリングストック法とは…

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に準備しておく方法です。



1週間を乗り切ろう！

**1~3日目：冷蔵・冷凍室にあるものを食べる**

**4~7日目：ローリングストック法で備蓄した非常食を食べる**

## 2. 命を守るための災害対策

### 4 家庭での備蓄



家庭において「最低3日分」できれば  
「7日分」の飲食料を常に備蓄しよう！

地震・水害など広域災害が発生した場合、  
公共の支援（公助）が行き届かず、  
スーパーの商品も品切れとなる可能性があります。



**コロナ禍における避難を想定し、  
マスク・消毒液等の感染防止の備品も忘れずに！**

## 2. 命を守るための災害対策

### 5 家庭での家具の転倒防止対策



家具の転倒防止をしよう！



即効性あり

減災効果が高い

誰でもすぐに実行可能

阪神・淡路大震災(1995年)の建物内の負傷者の半数は「家具の転倒・落下」によるものでした。

### 3.まとめ



- ▶ 日頃から、ハザードマップで居住地域の「災害リスク」を理解しておく。
- ▶ 「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、気象情報・避難情報を収集し、自らの判断で早めに避難を行う。
- ▶ 家庭での備蓄は最低3日分できれば「7日分」の飲食料を準備する。家具の固定も忘れずに。



### 3.まとめ



参考情報

国土交通省

「ハザードマップポータルサイト」



Yahoo Japan! 天気・災害

「避難場所マップ」



総務省

「地震による家具の転倒を防ぐには」

